

議会だより

あ い か わ

第 126 号

責任者 議会議長 森川絹枝
年4回発行・本号14ページ



田代運動公園プール

町の将来都市像の計画に関する 第5次愛川町総合計画特別委員会を設置

P 2

財産の取得（高規格救急車他2件）を可決

P 3

「義務教育費国庫負担制度存続など」意見書を関係行政庁へ送付

P 4

平成22年8月15日

＜6月第2回定例会＞

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成22年第2回愛川町議会「6月定例会」が下表のとおり開催されました。この定例会では、専決処分の承認・条例・補正予算・工事請負契約の締結・財産の取得など町長提出議案について審議し、全議案を可決・承認しました。また、議員提出議案として、「第5次愛川町総合計画特別委員会」の設置や「義務教育費国庫負担制度存続など」を求める意見書を全会一致で可決しました。

本号では、これら「6月定例会」の内容をお知らせいたします。



平成22年第2回定例会日程

月	日	曜	会 議 名	主 要 内 容
6	1	火	本 会 議	町長提出議案の説明 特別委員会の設置 特別委員会委員の選任
	3	木	本 会 議	一般質問（6人）
	4	金	本 会 議	一般質問（5人）
	8	火	総務建設常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
	9	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
	15	火	本 会 議	提出議案の総括質疑・ 討論・採決 付託案件の審査報告・ 質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・ 質疑・討論・採決

第5次愛川町総合計画に関する 特別委員会設置

◎第5次愛川町総合計画
特別委員会の設置

（賛成全員）

現在、本町では、町の将来像を計画する重要な第5次愛川町総合計画を策定しています。

そこで、議会として、

この第5次総合計画の調査研究を行う必要があることから、本特別委員会を設置したものです。

専決処分の承認

◎専決処分の承認（愛川町税条例の改正）

（賛成全員）

名称 第5次愛川町総合計画特別委員会
委員定数 18人
委員長 林 茂議員
副委員長 能澤俊治議員

※ 総合計画とは将来、

町民の暮らす町をどのような姿にしていけるか。また、そのためにはどのようなことをしていけばよいかを総合的かつ体系的にまとめたものです。

ポイントⅡ 地方税法等の一部改正に伴い、公的年金等所得に係る所得割額の徴収方法の見直しがあったことから、所要の改正を行ったものです。

主な内容は、65歳未満の年金受給者に係る所得割額の徴収方法の変更であり、個人町民税の公的年金からの特別徴収制度の対象とならない65歳未満の公的年金等所得を有する給与所得者について、

て、納税の便宜を図る観点から公的年金等所得に係る所得割額を給与所得に係る所得割額及び均等割額の合算額に加算して給与から特別徴収できるように改めたものです。施行期日は平成22年4月1日

◎専決処分の承認（国民健康保険税条例の改正）

（賛成15人・反対2人）

ポイントⅡ 地方税法等の一部改正に伴い、基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の限度額を改めるとともに、非自発的失業者の国民健康保険税について、一定の期間、軽減する措置を新たに規定するなどの改正を行ったものです。

定するなどの改正を行ったものです。

施行期日は平成22年4月1日

◎専決処分の承認

平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

（賛成全員）

ポイントⅡ 今回の補正は歳入歳出予算の総額にそれぞれ315万円を追加し、歳入歳出予算の総額を52億2千415万円としたものです。

主な内容は、地方税法等の一部改正に伴い、リストラなどで職を失った非自発的失業者の国民健康保険税について、離職

日の翌日の属する月から翌年度末までの間、前年の給与所得を100分の30として保険税を算定することに伴い、国民健康保険税システムの改修を行うための委託料です。

◎専決処分の承認

平成22年度老人保健特別会計補正予算（第1号）

（賛成全員）

ポイントⅡ 今回の補正は歳入歳出予算の総額にそれぞれ114万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を414万9千円としたものです。

主な内容は、老人保健特別会計による老人医療費の給付は、後期高齢者

医療制度の創設に伴い、過誤請求や年度遅れの請求に対応するもののみとなっているため、平成21年度の国庫負担金については、全額翌年度の精算払いとなっており、本来、概算交付されるべき国庫負担金の歳入がなかったことから、平成21年度の歳入に不足が生じる状況となったため、不足する金額を翌年度の予算から充用したものです。

改正条例

◎愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ育児を行う職員の仕事との両立支援を推進するため、職員の配偶者の就業状況にかかわらず、時間外勤務の制限を規定するなどの必要の改正を行ったものです。

主な内容は、小学校就学のある職員が当該子

養育するために請求した場合には、配偶者の就業状況にかかわらず、時間外勤務を制限しなければならぬ規定に改めるとともに、3歳に満たない子のある職員が当該子を養育するために請求した場合には、業務に著しい支障がある場合を除き、時間外勤務をさせてはならない規定を新たに設けたものです。

施行期日は平成22年6月30日

◎愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業等を行うことができる職員の範囲の見直しや男性職員の育児休業取得を促進するための措置などが導入されたことに伴い、必要の改正を行ったものです。

主な内容は、配偶者の就業の有無や育児休業の

取得の有無等の状況にかかわらず、職員が育児休業、育児短時間勤務、部分休業をできるよう改めるとともに、子の出生の日及び産後8週間の期間内に、育児休業をした男性職員は、特別な事情がなくても再び育児休業をすることができるよう新たに規定したものです。

施行期日は平成22年6月30日

◎愛川町火災予防条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ火災が発生した場合の避難通路を確保することを目的として、カラオケボックス等遊興の用に供される個室型店舗における各室の外開き戸の自動閉鎖措置について義務付けるとともに、引用している省令の条項に移動があったため必要の改正を行ったものです。

主な内容は、火災が発生した場合の避難管理を確保することを目的として、カラオケボックス、

補正予算

◎平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

(賛成全員)

ポイントⅡ今回の補正は歳入歳出予算の総額にそれぞれ254万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を52億2千669万3千円としたものです。

主な内容は、町税等差押債権取立金請求ならびに国民健康保険税差押債権取立金請求に係る取立訴訟を提起したことによる弁護士費用等です。

工事請負契約締結

◎幣山下平線第2期分道路改良工事

(賛成15人・反対2人)

請負契約金額

6千440万1千750円

工事場所

角田地内

請負契約の相手方

大野建設株式会社

工期は平成23年1月31日まで。

財産の取得

◎高規格救急車購入

(賛成全員)

取得価格

1千841万7千円

1台

納入者

神奈川トヨタ自動車株式会社

中津店

納入期限

平成22年12月15日

◎高規格救急車救急資器材購入

取得価格
(賛成全員)
1千18万5千円

観察用資器材、呼吸・循環管理用資器材 他一式

納入者

エイバン商事株式会社

納入期限

平成22年12月15日

◎文化会館ランドピア

ノ購入

(賛成全員)

取得価格

958万4千925円

1台

納入者

株式会社山野楽器

橋本店

納入期限

平成22年10月31日

訴えの提起

◎訴えの提起について(町税等差押債権取立金請求 他4件)

(賛成全員)

ポイントⅡ町長が、町税等の滞納金を徴収するために差し押さえた債権

(滞納者が第三債務者・消費者金融業者)に対して、利息制限法第1条第1項の所定の利息の制限額を超えて支払った金銭(過払金)の不当利得返還請求権)の取立てに対し、第三債務者が支払いに応じないことから、取立訴訟を提起するものです。

人 事

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

(賛成全員)

ポイント＝高木雅夫氏(任期8月11日まで)を引き続き選任することに同意しました。

専決処分の報告

◎専決処分の報告(施設管理の瑕疵に係る損害賠償)

(賛成全員)

中津地内の電柱に共架されている防犯灯の蛍光管1本及びカバーが強風により外れ、その外れた

蛍光管1本が、隣接地に損害を与えたものです。駐車中の車両に落下し、損害賠償額 14万2千682円
普通自動車上部リア側に

請願・陳情のゆくえ

今回の定例会で結論の出た請願・陳情は次のとおりです。

(敬称略)

件 名	結 論	陳 情 者
陳情第3号 義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める陳情	採 択 (賛成全員)	神奈川県相模原市中央区富士見6丁目6番13号 湘北教職員組合 執行委員長 平野 知彦
陳情第4号 神奈川県最低賃金改定等についての陳情	不採択 (賛成4人・反対13人)	厚木市旭町1-9-18志澤(うりんぼうビル3F) 日本労働組合総連合会神奈川県連合会 厚木愛甲地域連合 議長 加藤 良秋

議員提出議案

義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書

◎義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書

(賛成全員)

議員提出議案第5号として提出され、審議の結果、原案のとおり可決し

次のとおり意見書を関係行政庁に送付しました。

義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠であり、現行教育制度の根幹をなしています。

しかし、教育予算について、GDPに占める教育費の割合は、OECD諸国の中で、日本はトルコについて、下位から2番目となっています。さらに、三位一体改革により、国の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫しています。

また、30人以下学級を含め、少人数学習や少人数学級などの実施は、時代のニーズに応え、子供たち一人ひとりの課題に応じたきめ細かな指導につながることから、次期教職員定数改善計画の早期策定をはじめ、教職員配置のさらなる充実が必要です。

よって、国におかれては、次の事項について実現されるよう強く要望します。

- 1 義務教育制度の根幹である教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続させること。特に、学校事務職員・加配教員をその対象から外さないこと。また、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 2 次期教職員定数改善計画を早期に策定し、少人数学習、学級規模の弾力化・縮小などを推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月15日

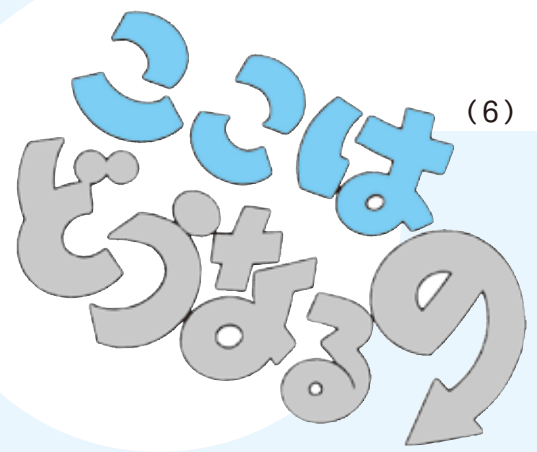
内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣 殿
神奈川県愛甲郡愛川町議会
議 長 森 川 絹 枝

会派 議決一覧表

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	あいかわ (6人) 馬場議員 林議員 中山議員 鈴木議員 成瀬議員 渡辺議員	愛政 (4人) 熊澤議員 島羽議員 小倉議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 近藤議員 熊坂徹議員	公明 (2人) 井出議員 森川議員	議決結果
議員提出 第4号	特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出 第5号	義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策 定を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第26号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	同意
町長提出 第27号	専決処分の承認について (愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第28号	専決処分の承認について (愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	●	○	○	承認
町長提出 第29号	愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正 する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第30号	愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条 例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第31号	愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第32号	専決処分の承認について 平成22年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第33号	専決処分の承認について 平成22年度愛川町老人保健特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第34号	平成22年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第35号	工事請負契約の締結について (平成22年度幣山下平線第2期分道路改良工事)	○	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第36号	財産の取得について (高規格救急車購入)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第37号	財産の取得について (高規格救急車救急資器材購入)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第38号	財産の取得について (文化会館グランドピアノ購入)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第39号	訴えの提起について (町税等差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第40号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第41号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第42号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第43号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 第3号	義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策 定を求める陳情	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 第4号	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	●	●	●	○	○	●	不採択

※陳情第3号は委員長報告に対する賛否
※陳情第4号は原案に対する賛否



一般質問

ネットモニター 制度導入の考え



熊坂 徹議員

問

インターネットモニターは、費用対効果にすぐれ、意識調査や満足度調査などがコストをかけずにできます。制度の導入の考えを伺います。

広聴は現状で十分 今後の研究課題

町長 「わたしの提案」や「町長と話し合う集い」の開催、また、アンケート調査により町民意見の把握に努めており、今の広聴活動が本町にふさわしい方法と考えていることから、今後の研究課題とさせていただきます。

外部評価制度の レベルアップを

問

昨年、行政刷新会議が行った事業仕分けは、国民の間に大きな反響を呼びました。以後、事業仕分けを導入する自治体も増え、また、インターネットで参加できる仕組みを取り入れるなどの工夫や改善を行っています。こうした取り組みを参考に本町の外部評価制度のレベルアップを図る必要はないか伺います。

他市町村を参考 よい制度を研究

町長 事業仕分けや外部評価制度は、よりよい制度を目指して、研究・検討が重ねられています。住民参加による外部評価については、他市町村の事例なども参考にしながら研究して行きます。他の質問事項①JAXAの学校教育支援について

学力低下が問題 教員の指導力向上



渡辺 基議員

問

近年、児童・生徒の学力低下が問題となっています。そこで、本町における教員の指導力向上に向けた教育委員会の取り組みを伺います。

夏季の研修講座 新たに7つ実施

町長 教育次長 教育委員会としての、教員の指導力向上に向けた取り組みについては、平成22年度において、新たに、「授業力グレードアップサマーズミ」と題し、夏季休業期間中に希望制の研修講座を7つ実施する予定です。

行政提案型協働事業について

問

地域の再生や活性化のためには、従来の共同では限界があります。そこで登場したのが協働という仕組みですが、更に進化させた形である行政提案型協働事業についての考えを伺います。

他市の事例で課題 今後研究する

町長 行政提案型事業は本来、行政が実施すべき

事業を、様々な市民活動団体のノウハウを活かし単なる従来型の業務委託ではなく、行政と団体との役割や責任を明確にし話し合いの場を設けるなど、事業の計画段階から市民活動団体と行政が連携・協力し事業を実施するものです。しかし、他市の事例において、課題があることから、今後、研究してまいります。他の質問事項なし



小学6年生の授業風景
＝中津第二小学校

町長 火災予防の指導は消防職員による立ち入り検査を実施し、違反事項がある場合には、速やかに是正するよう指導をしています。また、防火対象物の指導は、建築確認申請が提示された消防同意の際に建築物の用途、構造などにより、消防用設備の設置など防火に係る事項を指導しています。

立入り検査を実施 是正などの指導

問 火災予防と消防法における防火対象物の査察状況について伺います。

火災予防と 防火対象物の査察



成瀬 和治議員

町長 既存の保健セン

総合的な充実図る 推進と位置付け

問 第4次総合計画も今年度で終了し、来年度から第5次総合計画が始まります。そこで、新総合計画における保健センターの建て替えの位置付けについて伺います。

町長 第4次総合計画ターについては33年経過し、手狭になっている施設であり、新たな保健分野の総合的な充実強化を図るため、保健センターの建て替えの推進として位置づけ、現在、開催をしています総合計画審議会に提示しています。他の質問事項なし

第5次愛川町総合計画 保健センターの建て替え



現在の保健センター

町長 本町では、事務の合理化・効率化や職員定数の合理化を進め、人件費の削減を行ってきました。副町長については平成19年3月議会で副町長定数条例を提案し、副町長一人を置くことを認められました。今後、町政運営上然るべき時期にお願いしたいと考えています。

然るべき時期に 提案したい

問 特別職の副町長を財政状況が好転するまで空席にできないか伺います。

人件費の削減 財政状況好転まで 副町長を空席に



熊坂 弘久議員

本町の人口増加策

問 現状を踏まえ、本町の人口増加策をどの様に考えているのか伺います。

減少に歯止めが重要 今後定住化を促進

町長 町の活性化を図っていくためには人口減少に歯止めをかけることは重要と認識しています。

人口増加の基本は、出生数の増加と町からの転出者を抑え、逆に転入者

を増やす社会増の促進です。住み良い町づくりを進めることはもとより、町外の方が愛川町に住みたいと思う様な魅力ある町づくりを総合的に進める必要があることから、本町の立地条件などを鑑み、子育て支援を中心とした各種の施策を実施しています。今後も定住化を促進し魅力ある施策の研究と実施に努めたいと考えています。

他の質問事項① 税収確保



子どもがつくる 「弁当の日」の実施を



井上 博明議員

問

子ども自身が献立を決めて調理し、その弁当を学校で食べる「弁当の日」の実施の考えについて伺います。

先進地の情報収集 今後の研究

町長 子どもが自ら食べるお弁当づくりは、食育上の効果が期待できる一方、共働きや家庭の事情で、お弁当づくりはしない、出来ない家庭もあるなど課題もあることから、先進事例の情報収集など、今後研究をしていきたいと考えています。



高校生への支援策充実を

問

高校生をお持ちの家庭に対する支援策の充実で、高校生の生活全般、学用品、修学旅行費などの支援策について伺います。

新たな支援制度 他の動向踏まえ研究

町長 本町においては、高校生をお持ちの家庭に

対して、経済的負担軽減を図るため、高等学校生徒通学費助成制度を新たにスタートしました。新たな高校生への支援制度については、他の市町村の動向などを踏まえて研究を進めていきたいと考えています。

他の質問事項①予算編成過程の公開②子育て支援

捨てられるゴミ 燃料化を望む



小倉 英嗣議員

問

回収されている生ゴミや木・古着・天ぷら油。

家畜の糞尿等からエタノール等のバイオ燃料ができ、利用すれば大きな資源となります。そこで取り組みの考えを伺います。

一部はすでに資源化 動向見極め考える

町長 古紙やビン、カンペットボトル、剪定枝は既に資源化していますがバイオガス等については今後の動向を見極めていきたいと考えています。

シカ・サル対策と食料自給率

問

県の保護管理下で増えすぎた、シカ・サル対策は、最重要課題として取り組む必要があります。サルは人を威嚇するなど凶暴化し、シカは花や農作物被害の他にヤマビルに深く関わっており、自給率向上の重大な障害になっています。そこで有効な対策と食料自給率を伺います。

管理捕獲を実施 市町村は公表せず

町長 戦後の針葉樹植林で木の実などのエサが不足し、山から降りてきた野生動物による農作物被害は拡大しています。町は獣害防止電気柵設置拡大やシカ・サルの管理捕獲、電気柵設置助成を行っています。自給率については、国が41%、県が3%ですが、市町村自給率は公表されていません。



町が設置している電気柵
＝尾山地内

他の質問事項①低炭素社会実現の取り組み

家庭と連携し心のケアを支援

教育長 児童・生徒自身の心のケアのためのスクールカウンセラーや学校教育相談員、家庭訪問相談員による教育相談や学校復帰を目指した相談指導教室等における支援など積極的な取り組みを行っています。

問 小学校から中学校へ進学する際、環境の変化に対応できず、不登校と学習の遅れが表れる「中一ギャップ」解消への取り組みについて伺います。

「中一ギャップ」解消への取り組み



井出 一己議員

町長 子育て支援という面から、大変有効な施策ではないかと思っています。

国の動向把握 今後の研究課題

問 国の子宮頸がんワクチン定期接種化の実現と町独自の公費助成の実施に対する町長の見解をお伺いします。

子宮頸がんワクチン 町の公費助成を要望



ます。また、県の町村会で、国への要望活動を行うことが決まっていることから、そちらのほうにも期待をしています。

町独自の公費助成については、国の定期接種化の動向や他の市町村の状況なども踏まえながら今後の研究課題とします。

他の質問事項①財政健全化対策

町長 神奈川県を中心に本町や関係団体で構成する水源地域交流の里づくり推進協議会の「やまなみグッズ」の認定を受けることが有効です。町も事業者との連携を図り、支援を協議していきたいと考えています。

「やまなみグッズ」の認定向け支援

問 町民アイデア 町づくり事業の杜中茶を地域特産品として町が推奨する為には何が必要で、また発展させるには町として何ができるか伺います。

町民アイデア事業 杜中茶を特産品に



小林 敬子議員



田代地内にある杜仲茶畑

町長 環境保全効果の高い家畜排泄物の堆肥の利用促進、食糧残さ等の有効利用による土づくりや農薬を使用しない、また

将来の農業に必要な 農協や県と連携

町長 環境保全効果の高い家畜排泄物の堆肥の利用促進、食糧残さ等の有効利用による土づくりや農薬を使用しない、また

問 安全で栄養価の高い農作物を作るには、環境保全型農業への転換と有機農業が必要と考えますが、その取り組みを伺います。

は使用の低減を図る有機農業や環境保全型農業の推進は将来の農業に必要不可欠と認識しています。今後とも生産者の意向を踏まえ、農協や県の専門機関と連携を図りながら生産の安定や所得の確保を考慮し、本町の実情に適した有機農業を推進する取り組みをしていきたいと考えています。

他の質問事項①平和事業の取り組み

環境保全型農業へ転換を

愛川ふれあいの村 町の関与について



小島総一郎議員

問

県立愛川ふれあいの村は、来年以降、新しい事業者に変わります。住民も利用していることから、町としてある程度の関わりを持つ考えがあるか伺います。

管理者決定後 町として協議

町長 今の、ふれあいの村にも、町内の方が何名か勤めていると聞いており、町は指定管理者が決まりましたら、そのまま残す話をしたいと考えています。



県立愛川ふれあいの村

繊維産業

今後の取り組み

問

地場産業である繊維産業について、今後、町はどのような取り組みを考えているのか伺います。

後継者の育成など できる限りの支援

町長 町としては、伝統ある地場産業の振興を図るため、繊維産業会の運営費に対する補助や繊維

設備等改善資金の預託、繊維産業近代化促進事業利子補給などの支援も継続して実施しています。

今後は、後継者の育成や観光特産品開発、地場産業のPRなど繊維産業会が実施する各種の取り組みに対し、町としてできる限りの支援に努めていきたいと考えています。他の質問事項①町の人口について

コンビニ受診の 対策について



近藤 幸子議員

問

小児医療費無料化が、10月より小学校6年生まで拡大しますが、無料だからと手軽に受診するコンビニ受診が増えています。そこで、コンビニ受診の対策について伺います。

チラシ送付で 適正な受診

町長 今回の小児医療費助成の拡大については、医療証の交付に合わせ、適正な受診をして欲しい旨のチラシを同封するなど、啓発に努めていきます。

障害児童の放課後支援

問

4月から、心身障害児通園事業ひまわりの家と障害者通所事業かえでの家を社会福祉法人愛名やまゆり園が委託、運営しています。

この愛名やまゆり園の活力を導入し、新たなサービスを展開していく考えはないか伺います。

新規サービス事業 民間と協議し研究

町長 レスパイト事業をはじめとする、障害福祉サービス事業の民間委託を視野に入れた取り組みについては、愛名やまゆり園と協議をしながら研究をしていきたいと考えています。

他の質問事項①審議会について



民間委託となったひまわりの家

町長 町長車は居住性、信頼性などを勘案し、動く執務室としての機能を兼ね備えた専用車としています。現車両は4年しか経っておらず、当面買換えはしない。また、EV車についても考えていません。

町長車は動く執務室
EV車は考えず

問 現在4.5ℓの町長車を使用中だが、財政も逼迫する中、見直しの考えと町のEV車を町長車にすればPR効果は高いと思うが、考えを伺います。

町長専用車見直し EV車でPRは

山中 正樹議員



待機児童解消のため改修が計画されている
中津南保育園

「町立保育所」 待機児童と定員割れ

問 保育所の待機児童と定員割れの現状について。
また、保育形態の工夫の考え方について伺います。

待機児童8名
定員割れ74名

町長 4〜5歳児は一人の保育士が保育できる人数は約30人、1〜2歳児では約6人、0歳児は3人までです。

こうした中、現在0〜3歳児の待機児童は8名であり、入所希望に恵られないのが現状です。一方、4〜5歳児は定員割れとなっており、矛盾が起きています。子育て支援課長 定員割れ人数は74名です。保育形態は、異年齢保育として、例えば3〜5歳児を一グループとする考え方があります。他の質問事項①水道事業

総 括 質 疑

ここが聞きたい! そこが知りたい!

問 愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正ですが、現在の職員の産休と育休の取得状況について
答 6月1日現在で産前産後休暇を取得している職員は2名です。また、育児休業をしている職員は現在6名です。
問 愛川町火災予防条例例の一部改正ですが、本町において、対象となる個室型店舗数について
答 今回の一部改正の対象となるカラオケボックス等の個室型店舗は、現在1店舗です。
問 旧ランドピアノの処分方法について
答 現在使用しているランドピアノの処分方法については、今回のランドピアノ購入の入札における仕様書の中で、下取りをすることにしています。

産休・育休に伴う臨時職員の給与等に

鳥羽 清 議員

ついて

答 産休・育休に伴う臨時職員の給与等については、正規職員の育児休業等に伴い、代替として雇用している臨時職員についても、他の臨時職員と同じく、臨時職員賃金基準一覧表に定められた時間給を基に実労働時間に対する賃金を支給しています。

また、時間給単価は、職務の困難度や責任に応じて職種ごとに定めており、例えば、一般事務職の代替として雇用した場合、時給816円で、日額6,324円です。

その他主な質疑事項
①弊山下平線第2期分道路改良工事の入札状況について
②高規格救急車が随意契約となった経緯について

議会だより・議会に関する 傍聴者アンケートの結果

平成21年6月から計4回、議会定例会の傍聴にお越しの方々に「議会だよりあいかわ」についてアンケートをお願いし、延べ102名の方から協力をいただきました。	今後、アンケート結果をもとに「議会だより」の内容や紙面などを改善し、さらに町民の方々に親しまれる広報として充実を図っていきます。	「議会だより」を読んだことがありますか」	①毎回読んでいる 68人	②時々読んでいる 16人	③たまにしか読まない 3人	④全く読まない 0人	⑤無回答 15人	【全部の記事を読んでいきますか】	①ほぼ全て 74人	②一部だけ 5人	【最も関心がある記事はなんですか】※以下、複数回答あり	①可決議案の内容 30人	②一般質問 60人	③総括質疑 5人	④討論 7人	⑤町民の声 27人	⑥その他 1人	【紙面のレイアウト(構成)については】	①読みやすい 12人	②普通 70人	③読みづらい 0人	【読まない理由を挙げてください】	①内容が難しすぎる 0人	②用語・表現が難しすぎる 1人	③活字が多すぎる 1人	④その他 0人	【掲載してほしい内容】	・議員の一般質問の回数の星取表	・町の活性化の取り組み状況	・町が抱えている問題	主な傍聴の声	・記事内容をさらに詳しくしてほしい。	・他の市町村の議会広報を参考にしてほしい。	・議員の日常の町政に対する研究など議員としての仕事を発表してほしい。	・議会だよりの発行を早くしてほしい。	・各課や関係者の考えが細かく納得のいく答えが聞けて大変良かった。	・議論の場という感じがしなかった。	・自由かつ達でよい。	・議場が穏やかで感じがよかった。	・質問に対しての答弁が長いと感じた。	・大変勉強になった。	・議員の熱心な態度が感じられた。	・質問に対する答弁が長いと思う。	・前向きな具体的方策を示してほしい。	・答弁者の方は、もう少し歯切れよく、また、声をしっかりと出してほしい。	・本町でも第三者機関の外部評価が行われていることを傍聴して分かった。
--	--	----------------------	-----------------	-----------------	------------------	---------------	-------------	------------------	--------------	-------------	-----------------------------	-----------------	--------------	-------------	-----------	--------------	------------	---------------------	---------------	------------	--------------	------------------	-----------------	--------------------	----------------	------------	-------------	-----------------	---------------	------------	--------	--------------------	-----------------------	------------------------------------	--------------------	----------------------------------	-------------------	------------	------------------	--------------------	------------	------------------	------------------	--------------------	-------------------------------------	------------------------------------

平成21年度 政務調査費収支報告

政務調査費は、地方自治法や町議会政務調査費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究に必要な経費の一部として各会派に交付されるものです。

交付額は、所属議員1人当たり月額1万円です。

各会派からの平成21年度分の政務調査費交付金の収支報告は、次のとおりです。

(単位：円)

会派名 (所属議員数)	あいかわクラブ (6人)	愛政クラブ (4人)	あすか (2人)	共産党 (2人)	民主みらい (2人)	公明党 (2人)
交付額	720,000	480,000	240,000	240,000	240,000	240,000
支出額	767,479	480,897	137,138	243,475	287,320	260,049
残額(返還額)	0	0	102,862	0	0	0

議会インターネット ライブ中継が始まります。

愛川町議会では、開かれた議会の推進に向け、平成22年9月議会定例会から、本会議の映像をインターネットを通じてライブ中継します。

視聴にあたっては、「愛川町議会ホームページ」内の「議会インターネットライブ中継」という項目をクリックして進んでください。

開会日程、推奨環境等の詳細については、逐次、ホームページに掲載します。

愛川町議会ホームページアドレス

(<http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/assembly/index.html>)

〈画面イメージ〉

愛川町議会インターネット中継

◆ 中継を多数の方が同時にご覧いただいた場合には映像がうまく表示されない場合がありますので、ご了承ください。



- ◇ ブラウザはInternet Explorer 5.01以上をご利用ください。
- ◇ ディスプレイ解像度は1024x768以上を推奨します。
- ◇ フォントサイズは「中」を推奨します。
- ◇ Windowsをお使いの方は、メニューバーの【ツール】-【インターネットオプション】-【セキュリティ】-【インターネット】-【レベルカスタマイズ】でアクティブスクリプトが「有効」であることを確認してください。
- ◇ 中継をご覧いただくには動画再生ソフト Windows Media Player(無料) が必要になります。
- ◇ Windows/パソコンには基本的に標準装備されていますが、Macintoshをお使いの方や最新のものにアップグレードする方は下記リンクよりご用意ください。 [Windows XP](#) / [Windows 2000 ME.98](#) / [Mac OS X](#) / [Mac OS 8.1~9.2](#)

■ ホームページに関するご意見・ご感想は、TEL 046-285-6927にてお願いします。

243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251番地1 愛川町議会事務局

Copyright (C) 愛川町議会事務局 All Rights Reserved.



現在、議会では、次の
ことに取り組んでいます。

◎第5次愛川町総合計画
特別委員会
第5次愛川町総合計画
の調査・研究

◎議会改革検討委員会
議会基本条例の制定に
向けた調査・研究

◎議員報酬等あり方検討
会
議員報酬、期末手当及
び議員定数の検討

議会の
取り組みの

町民の声

「感謝の日々」



小俣 清武 さん
(半原在住)

私は丹沢山系のふもと中津川の清流と豊かな自然環境に恵まれた愛川町に住んでいる事を誇りに思っています。

丈夫な身体を父母より授かり無事に定年を迎え安堵し深く感謝した事も。平凡に日々を過ごしていた有日、妻が急に苦しみ救急車の中で心臓が止まってしまい最悪の事態、救急隊員の方々の適切な手当てで一命を救って

頂きました。感謝をしています。

最近、年配者のブレーキとアクセルの踏み違い事故が多く報道されている中、そんな事考えられないと話題になります。事故は発生している訳です。私もバスに乗務し何事もなく45年目を迎える事ができました。循環バスが走っている

ので、免許証は返納して来ましたと年配の方が話されました。

また、年配者の二人暮らしが多いせいか、坂道を歩んで登れないので病院や買い物に行くのに循環バスを利用でき誠に有り難いと感謝されておられるお客様も多くおられます。

少しでも大勢の方が利用される循環バスになればと思います。

さて、今回の9月定例会は、平成21年度の各会計の決算を審議する議会です。皆さんの貴重な税金がどのように使われたかを審議しますので、ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会

次回、9月定例会は下表のとおりです。本会議はいつでも午前9時から開会します。

また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、8月23日(月)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成22年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
9	1	水	本会議 (提出議案の説明)
	2	木	本会議 (一般質問)
	3	金	本会議 (一般質問)
	8	水	本会議 (個人総括質疑)
	10	金	本会議 (会派代表質疑)
	14	火	総務建設常任委員会
	15	水	教育民生常任委員会
	17	金	総務建設常任委員会
	21	火	教育民生常任委員会
	28	火	本会議 (委員長報告・討論・採決)
	29	水	予備日

ページでもご覧になれます。

会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、6月定例会の会議録は、9月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かねでの会」のご協力により、視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)

編集後記

今回の6月定例会では、第5次愛川町総合計画策定等に関する事項を調査するため特別委員会を設置しました。

この第5次総合計画は、町の最上位の計画となります。町民皆さんの暮らしが良くなるよう全力で調査をいたします。

さて、今回の9月定例会は、平成21年度の各会計の決算を審議する議会です。皆さんの貴重な税金がどのように使われたかを審議しますので、ぜひ傍聴にお越しください。

議会だより編集委員会
委員長 熊坂 弘久
副委員長 井出 一己
委員 渡辺 基
委員 馬場 司
委員 成瀬 和治
委員 小島総一郎
委員 熊坂 徹
委員 熊澤 俊治
委員 井上 博明